

介護現場の「忙しすぎる」を、仕組み化で解決。

参加費
無料

業務改善研修 & 伴走支援プログラム 参加事業所を募集します！

- 『生産性向上は必要とは思いますが、何から始めてよいか分からない』、『前に機器を入れたけどうまく使えなかったな』、『この職場を、もっと良くしたい！』 – そんな皆様に取り組む進め方や効果を出すためのコツをお伝えする、特別なプログラムです。
- 本プログラムでは、年4回の研修と専門家によるきめ細かな伴走支援を通じて、事業所の業務改善と働きがいのある職場づくりをサポートします！



A.働きやすい職場づくり業務改善研修プログラム (募集：30事業所程度)

B.伴走支援プログラム (募集：4事業所)

Day1

(7月27or28日)

「現場の課題の見える化をしよう」

ワークショップで事業所の課題とそのおおもとの原因を特定

Day2

(8月13or14日)

「実行計画を立てよう」

Day1の課題に即した“打ち手”を実行するための計画を作成。課題解決に向けた無理のない目標設定も専門家がフォロー

Day3

(12月14or15日)

「改善活動に取り組もう」

実行計画の振り返り、マニュアル・手順書・ルールづくりのポイントの検討

Day4

(2月17or18日)

「改善活動・実行計画を振り返ろう」

これまでの活動を成果発表形式で振り返り、今後の継続的な取り組みを検討

- ※ 各回約2～3時間程度。研修会場は那覇市内を予定
- ※ 全日程（4日間）の参加が必須条件
- ※ 各回（Day1～4）2日間のいずれかの日に参加

研修プログラム+専門家が
事業所を直接訪問して、
業務改善活動をサポート！



主な支援内容

- 課題分析
- 業務改善活動の検討・実施
- 効果検証
- 成果報告



- ※ 「A.働きやすい職場づくり業務改善研修プログラム」の全日程の参加が条件

プログラム お申込み

申込期間：令和8年4月30日(木)～令和8年7月2日(木)17時必着
提出書類：かいテク沖縄HPに募集要項及び申請様式を掲載
【URL】 <https://okinawa-kaigocenter.com/info/12/>
申込方法：下記メールアドレスに申請書一式を電子メールで提出
okinawa-seisansei@nttdata-strategy.com

留意事項：6/25(木)開催の「生産性向上のための基礎セミナー」参加申込
または同イベントのアーカイブ動画視聴のうえでお申込みいただくことを
推奨しております。



お問い合わせ先：介護業務・テクノロジー伴走支援センターおきなわ

【URL】 <https://okinawa-kaigocenter.com>

お電話でのご相談 [9:00～17:00]
098-869-0855

E-MAILでのご相談
okinawa-support@kaigo-center.or.jp

令和7年度プログラム参加者の声

業務改善の取組と伴走支援による具体的な成果をご紹介します

介護老人保健施設 シルバーピアしきな (那覇市)

生成AIで議事録作成が92%時短、職員に生まれた心の余裕

- 議事録作成担当者が会議への参加・書記・作成までを一人でこなしており、職員アンケートでは「負担が大きい」「ストレスを感じる」「残業が発生している」との声が多数寄せられるなど、書類業務の負担が課題でした。
- ◎ 研修を踏まえた課題分析や伴走支援での専門家からの助言をもとに、生成AIツールを活用し、スマホ・タブレットで録音するだけで議事録を自動生成する仕組みを導入。従来の手書きメモから「録音→自動生成→確認・修正」の流れへと改善できました。



BEFORE

議事録作成時間
約60分/件

AFTER

※通常比92%減
約5分

介護老人保健施設 シルバーケア悠悠 (宮古島市)

「とりあえず導入」ではなく、定着のための準備がカギ

- 夜勤職員の月平均歩数が約14,000歩に及び、施設が広くて歩行距離が長いこと、また体動によるセンサーコールへの不要な訪室が多いことが課題でした。
- ◎ 見守りセンサーの導入にあたり、「機器を置いて終わり」にしないため、研修で策定した業務改善活動計画書やアドバイスをもとに、デモ・他施設見学・配線やリスクの確認と徹底した準備を重ね、一目で分かりやすいマニュアルを整備することができました。



BEFORE

夜勤帯の1日平均訪室回数

3.4回

AFTER

2.8回

特別養護老人ホーム チチン園 (伊是名村)

移乗機器と小さな工夫の積み重ねで、離島介護に新しい風

- 職員の高齢化（平均年齢58歳）が進む離島施設で、移乗介助の身体的負担と腰痛が深刻な課題でした。
- ◎ 伴走支援ではかいテク沖縄スタッフが現地に何度も足を運んでいただき、非装着型移乗支援機器の導入とあわせて、入浴順番表の活用など、コストをかけない小さな改善活動も並行して実施できました。何より職員の意識が変わったことが研修参加の最大の収穫でした。



BEFORE

入浴介助の時間

2時間/日

AFTER

1時間45分/日

(職員2名分で年間約160時間創出)

特別養護老人ホーム 八重山厚生園 (石垣市)

5S活動で「探す・迷う」をなくし、現場がスッキリ

- 書類や物品が散乱し、職員の8割以上が「物を探すムダ」を実感していました。役割分担の曖昧さに加え、申し送りノートの読みづらさによる情報共有の「ムラ」もあり、日常の非効率が積み重なっていました。
- ◎ 研修では、なぜなぜ分析による課題の見える化に楽しみながら取り組み、学んだ5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)に関する知識をもとに、施設全体でデスク周りの整備や申し送りノートの改善、業務内の片付け時間の設定を実施しました。ゴミ袋約20袋分の不要物を処分することができ、職場環境が目に見えて改善しました。



BEFORE



AFTER

☑ 県内介護事業所の取組事例をかいテク沖縄ホームページにて公開中！

介護現場の業務改善事例6選
かいテク沖縄 令和7年度成果報告会
(2月24・25日開催)



残業・腰痛・人材不足…
現場の悩みをどう解決した？
県内3事業所にインタビュー

